

やしろけぶんしょ いっかつ
『「屋代家文書」ほか一括』

- 指 定 千曲市指定有形文化財（歴史資料） 平成 19 年 3 月 30 日
- 所 在 地 千曲市大字桜堂 268-1 千曲市文化財センター
- 所 有 者 千曲市（個人より寄贈）
- 概 要 (1)古文書類 39点、(2)系図類 5点、(3)絵図類 15点、
(4)衣装類 8点、(5)調度具類 1点、(6)その他 21点
合計 89点
- 時 代 戦国時代～近代
- 公 開 非公開

戦国に更埴地方の戦国領主であった屋代氏は、上杉景勝から徳川家康の家臣に転身し、駿河大納言忠長の付家老となり甲府に領地をもちました。忠長事件のあと安房国北条の大名になりますが、万石騒動の百姓一揆により領地没収で旗本になり、江戸に居住した後、明治維新で静岡に居を移しています。

屋代家文書は、戦国時代から近代までの歴史を物語る武家資料群です。武田信玄・上杉景勝・徳川家康をはじめ、老中奉書や旗本の生活を示す近世史料などの古文書典籍をはじめ、戦国江戸初期の軍旗・軍装束や調度具類などさまざまな種類の資料群で、価値の高いものです。

屋代家という一家の歴史資料が戦国大名から近世大名・旗本・近代士族へと変遷したことを示す資料としては、県内では喬木村の知久家資料群が知られるのみで、歴史的価値が高い屈指の資料群です。

